（別紙様式）

番　　　　　　　号

令和３年　月　日

青森県農林水産部

総合販売戦略課長　殿

住　　　所

事業主体名

代表者氏名　　　　　　　　　　印

令和３年度青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業及び

令和３年度青森県県産品販売対策強化事業実施計画書

　このことについて、令和３年度に事業を実施したいので、下記のとおり事業実施計画書を提出します。

記

１　事業申請者の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業実施主体名 |  | | | |
| 代表者名 |  | | 担当者名 |  |
| 所在地 | 〒 | | | |
| 電話 |  | | ＦＡＸ |  |
| 担当者電子メールアドレス |  | | | |
| 対象品目 |  | | | |
| 青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業の前年度の取組 | ※青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業を希望する場合に記載してください。  ※成果があった主な取組内容を簡潔に記載してください。また、令和３年度も継続する取組についても必ず記載してください。 | | | |
| 事業費 | 円 | | |
| 補助金額(予定含む) | 円 | | |
| 青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業の前年度の成果 | ※青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業を希望する場合に記載してください。  ※事業を実施することによってもたらされた具体的な成果を記載してください。（前年度の「成果を検証するための指標」の目標及び結果も記載すること） | | | |
| 新型コロナウイルス感染症の拡大により制限を受けている消費宣伝活動について | ※青森県県産品販売対策強化事業を希望する場合に記載してください。  ※昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった消費宣伝活動を具体的に記載してください。 | | | |

２　事業内容（対象品目：　　　　　　）

（１）青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業区分 | 実施項目 | 事業に要する経費  (円) | 実　　施　　事　　項 | | | | 前年度の成果反映の有無 | 前年度の成果反映及び期待される効果 |
| 実施時期 | 実施場所 | 実施内容 | 連携区分 |
| 記入例  ４－(１) | 記入例  新米親子おにぎり教室 | 記入例  300,000 | 記入例  10～12月  (10回) | 記入例  県内の小学校 | 記入例  ・幼稚園及び県調理師会と連携し、幼稚園児親子を対象として、県産米と県産食材を使用した料理教室を開催する。  【積算】□□□円  　食材代　○○×○回＝○○円  　講師代　　　　・  　交通費　　　　・  　会場費　　　　・  　○○○　　　　・ | 記入例  異業種連携 | 記入例  ○ | 記入例  ・幼稚園児親子おにぎり教室を開催したところ、子どもが自分でおにぎりを作ることによって、お米に対する関心が高まり、また、親がおにぎりのレシピを習得することによって、家庭でのご飯の提供回数が増えた。（アンケート調査実施） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 事業費合計 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 補助金要望額 |  |  |  |  |  |  |  |

（２）青森県県産品販売対策強化事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業区分 | 実施項目 | 事業に要する経費  (円) | 実　　施　　事　　項 | | | 期待される効果 |
| 実施時期 | 実施場所 | 実施内容 |
| 記入例  ３－(１) | 記入例  個包装したサンプル提供による消費宣伝活動 | 記入例  1,300,000 | 記入例  10～12月  (50回) | 記入例  関東及び関西地区のスーパー  50店舗 | 記入例  ・県外米卸と連携し、スーパーにおいて、試食に代えて個包装した野菜（ミニトマト、にんにく１片、ながいもとろろなど）を配布する。  【積算】□□□円  　野菜代　○○×○回＝○○円  　個包装代　　　　・  　送料　　　　　　・  　○○○　　　　　・ | 記入例  ・試食宣伝と同様の効果が期待できる。 |
| ３－(１) | リモートによる料理教室の開催 | 1,000,000 | 6～10月  (10回) | 県内の料理スタジオ | ・県調理師会と連携し、県外の主婦を対象に、ベビーホタテを使用した料理教室をリモートにより開催する。  　対象者は公募により１回当たり先着100名。参加料は無料とし、参加者には冷凍ベビーホタテを100ｇ提供する。  【積算】□□□円  　食材代　○○×○回＝○○円  　講師代　　　　・  　機材リース代　・  　○○○　　　　・ | ・コロナ禍で巣ごもり需要が安定して見込まれる中、県産野菜の料理方法を普及することにより、将来にわたっての県産野菜の需要拡大が見込まれる。 |
|  | 事業費合計 |  |  |  |  |  |
|  | 補助金要望額 |  |  |  |  |  |

３　成果を検証するための指標

（１）青森県あおもり産品消費宣伝対策強化促進事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 目標（現状） | 調　査　方　法 |
|  | （　　　　　　　） |  |

記入上の注意事項

（１）サイズはＡ４判又はＡ３判で作成すること。

（２）「事業区分」には別紙「青森県総合販売戦略第４ステージ」の分野別戦略の推進方向の番号（ゴシック体部分のみ）を記入すること。

（３）「事業に要する経費」は実施項目ごとに記入し、「実施内容」には実施項目ごとに事業費の積算根拠を記入すること。（積算は別紙可）

（４）「連携区分」は実施項目ごとに「単独」、「連携」(関係団体との連携)、「異業種連携」(全く異なる業界団体との連携)のいずれかを記載すること。なお、本事業では、青森県との連携は「連携」及び「異業種連携」として扱わないので、青森県以外の連携団体がいない場合は「単独」と記載すること。

（５）「前年度の成果反映の有無」は実施項目ごとに記入し、「○」を記入した場合は、「前年度の成果反映及び期待される効果」に、前年度の成果をどのように反映させているのかが分かるように記載すること。

（６）事業の実施効果を検証するための指標となる数値目標を１つ以上設定すること。なお、「（　）」内には現状の数値が分かっている場合に記入すること。